

掲示板のことば

さとりとは
賢くなること
ではない
愚かさ
に
気づくことである

2017. 09

人間・釈尊は、さとりを開き「仏陀」になりました。それは、あらゆることは「縁起」であると、つまり、すべての事象は「縁により起こる」ということを知ったのです。そして、私たち人間が迷うのは、その「縁起」ということを理解していないからだと言われました。

「縁起」は、「十二縁起」と言われますが、その根本にあるのが、「無明」ということです。それは、「ほんとう」ということを知らないという、私たち人間が抱える迷いの根本であるとも言われます。

私たち人間は、頑張って成長してきました。科学技術は進歩し、便利で快適で豊かな世の中に生きています。まるで「すべて分かっている」かのように錯覚をして生きていますが、仏陀はその「すべて分かっている」という私たちの錯覚を「無明」と言われるのです。

何でも知っているという思いが、かえって、「ほんとう」ということを知る眼（まなこ）を閉ざしてしまっているのですね。

「愚かである」という自覚に立つことによって、「ほんとう」ということを知り得る道が開かれるのでしょうか。

真宗大谷派 光明寺住職 小林尚樹